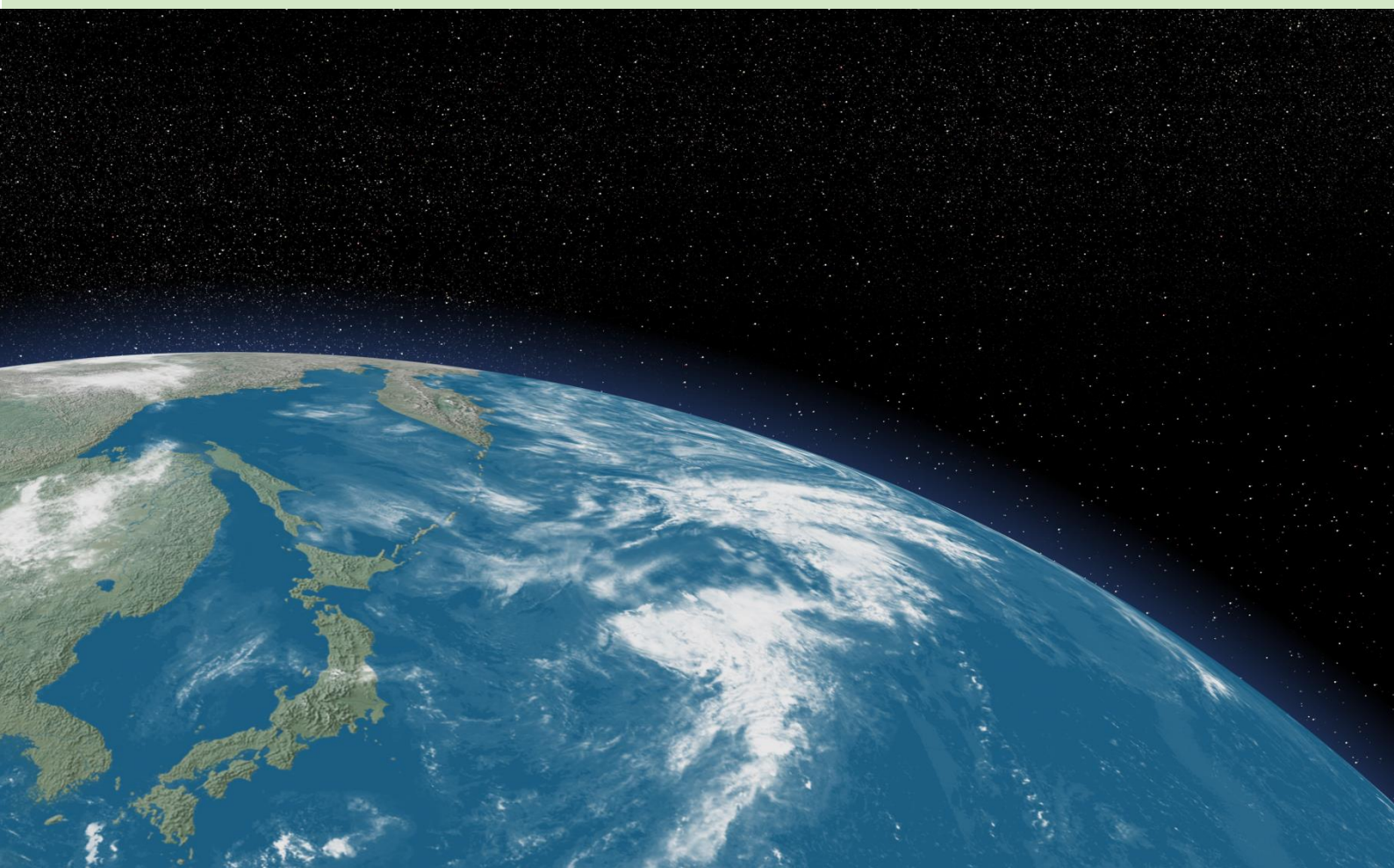


下水道事業における地球温暖化防止計画

# アースプラン 2017

～快適な地球環境を次世代に～



平成 29 (2017) 年 3 月



東京都下水道局



下水道事業における地球温暖化防止計画

# アースプラン 2017

～快適な地球環境を次世代に～

平成 29 (2017) 年 3 月

## 「アースプラン 2017」の策定にあたって

温室効果ガスの増加により、地球の平均気温は上昇し、世界各地で温暖化が原因と見られる異常気象が頻発しています。この地球温暖化の進行に歯止めをかけるべく、新しい国際ルール「パリ協定」が採択、発効され、世界の全ての国が行動を始めることになりました。地球規模での温室効果ガス排出量の削減が世界共通の課題となったのです。

これまでも、下水道局は、快適な地球環境を次世代に引き継ぐため、「京都議定書」に先駆け、2004年に下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン 2004」、2010年には「アースプラン 2010」を策定し、温室効果ガス排出量の削減に果敢に取り組んできました。

一方、2011年の東日本大震災後は、発電所の被災による計画停電や夏季の電気使用制限への対応を与儀なくされるなど、エネルギー需給が社会問題となりました。

エネルギーを大量に消費して都市活動を展開している大都市東京で、その電力の1%強というエネルギーを下水処理の過程で使用している下水道局は、将来にわたって安定的な下水道機能を維持するため、エネルギー需給という問題に対して大きな責務を負っています。そこで、2014年に下水道事業初のエネルギー基本計画「スマートプラン 2014」を策定し、温室効果ガス排出量の削減に加え、再生可能エネルギーの活用拡大や省エネルギーのさらなる推進に向けた取組を進めています。

今回策定した「アースプラン 2017」は、2016年3月に策定された「東京都環境基本計画」を踏まえ、最新技術の先導的な導入などにより、「スマートプラン 2014」との両立を図りながら、さらなる下水道サービス向上に伴い想定される温室効果ガス排出量の増加分を相殺しつつ当局の事務事業活動から発生する温室効果ガス排出量を2030年度までに2000年度比で30%以上削減するという、一段高い目標を設定しました。

東京下水道は、現場の創意工夫から生まれ、これまで培ってきた世界に誇る高度な技術で、都民の安全と東京の環境を守ってきました。「アースプラン 2017」の目標達成により、快適な地球環境を次世代に継承するとともに、日本、ひいては世界の下水道界を力強く牽引するエンジンとして、率先して温室効果ガス排出量の削減対策を推進することで「世界をリードするスマートエネルギー都市」の実現に貢献してまいります。

平成 29 (2017) 年 3 月

東京都下水道局長 石原 清次

# 目 次



## 第1章 「アースプラン2017」の目標

---

1-1 「アースプラン2017」の目標.....	2
--------------------------	---



## 第2章 「アースプラン2017」策定の背景

---

2-1 地球温暖化対策の動向.....	6
2-2 「アースプラン2010」の取組状況.....	10
☆コラム 「緩和策」と「適応策」 .....	14



## 第3章 「アースプラン2017」の概要

---

3-1 策定方針.....	16
3-2 削減目標.....	16
3-3 計画の基礎.....	18
3-4 基本的考え方.....	20
3-5 対策のまとめ.....	21
☆コラム 東京都におけるグリーンボンドの発行.....	23
☆コラム 単独処理区の編入による多摩地域の下水道運営効率化.....	24



## 第4章 温室効果ガスの削減対策

---

4-1 徹底した省エネルギー.....	26
4-2 処理工程・方法の効率化.....	33
4-3 再生可能エネルギーの活用.....	43
4-4 技術開発.....	47
4-5 協働の取組.....	48
4-6 お客さまとの連携.....	51
☆コラム 下水道事業におけるデマンドレスポンスへの貢献.....	52



## 資料編

---

環境確保条例（温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度）.....	54
-------------------------------------	----

